

シアトル別院時報

27巻 8月号

2008 年度教化標語

世の中安穏なれ

素晴らしい“和”によるお盆フェスティバル —相依相待の縁起の法を思う—

シアトル別院輪番・松林芳秀

仏教の開祖・釈尊が菩提樹の下で開かれた悟りの内容は、縁起の法の諦観（あきらかに観察すること）であったと伝えられています。私達が住んでいる地球、自然、社会、国家、全てのものが何一つとしてそれ自体で独立して成り立っているものはなく、相互に何らかの関係を持ちつつ成り立っているというのです。この縁起の法の理解こそ、私達が人生を歩み、仏道を精進する上で基本となる道標です。

今年も素晴らしいお盆フェスティバルが別院門信徒の皆様のご協力とご支援のお陰で、盛大、且つ成功裏に開催されました。このお盆フェスティバルも門信徒の皆様がお互いに協力し合っ

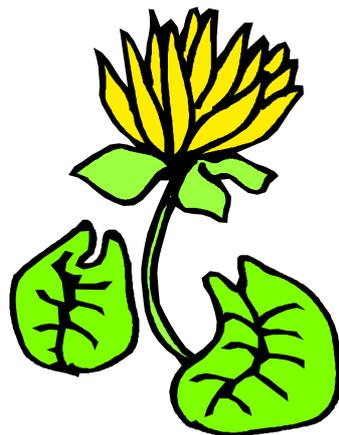
て始めて成功するので、決して数人の人だけによって成し遂げられるものではありません。日本仏教の興隆につとめられた聖徳太子は、六世紀末より七世紀始めにかけて日本最初の女帝・推古天皇の摂政として日本を統治され、『十七条憲法』を制定されました。その第一条には、

「和を以って 貴しと為す さからうことなきを宗とせよ・・・」

と、仏教の基本精神が示されました。この和の教えは、別院のお盆フェスティバルにおいても、別院の運営の上にも大切な教えです。お盆フェスティバルで、門信徒の皆様が一致協力されている姿は和の世界であり、まさに和合僧（わごうそう）としての仏教サンガです。一人、一人の尊いご奉仕が相依り、相待って網の目の如く結び合わされて、盛大になり成果が生まれるのです。皆様本当に有難うございました。

数年前、日本の島津製作所の田中耕一さんがノーベル賞を受賞され、ストックホルム大学で受賞講演をされました。その中で「自分達の研究は一人で成し遂げられたものではなく、成果はチーム・ワークの勝利で、チームの五人のうち一人でも欠けていたら今回の業績は達成出来なかった」とチーム・ワークの尊さを強調されていました。このチーム・ワークこそ調和であり、和の世界であります。

又、仏教の相依相待の「縁起の法」は二十世紀の生んだ偉大な科学者・アインシュタイン博士によって「相対性理論」として科学的にも示されました。



8月の予定

- | | | |
|------|-----------------------|-------|
| 3日 | 家族法要 | 日本語法要 |
| 10日 | 原爆追悼法要 | |
| | | 日本語法要 |
| 17日 | 家族法要 | 日本語法要 |
| 24日 | BWA 恵信尼様、覚信尼様
顕彰法要 | |
| | 家族法要 | 日本語法要 |
| 31日 | 家族法要 | 日本語法要 |
| 9月1日 | 事務所休み | |

この様な存在のあり方は、仏教的には“ありとあらゆるもの”が生かし生かされている事を教え、私達の命がこの世の中で計り知れない恩恵によって保たれている事に教えます。そこに、浄土真宗の教えである阿弥陀佛のご本願の働きに目覚めるのです。そして報恩感謝のお念仏の教えが生まれてくるのです。『十七条憲法』の第二条には、

「あつく三宝を敬え、三宝とは佛法僧なり・・・ 何れの世、何れの人か、この法を貴ばざるべきか・・・」

と述べ、私達が佛と法と僧（サンガ）の三宝に帰依信順して生きることの大切さを聖徳太子は示されました。シアトル別院サンガの護持発展のためにも、貴い和の心を持ち、三宝に帰依して、お念仏に生きることが大切です。これが浄土真宗の教えです。今年の盆踊りテーマは“お念仏にかえる”でした。このテーマはお盆フェスティバルで、お念仏の真実の教えを再発見する事でした。合掌

1 人間

人の生を受くるは難く

死すべきものの

今生命あるは有難し（「法句経」一八二）

長い地球の歴史の中で、最初の人類があらわれたのは今からおよそ二百万年以前だといわれているが、今や、その人間の数も、ついに五十億を突破してしまった。

いかにも多い数のように思われるかもしれないが、地上の他の生物の数に比較すれば、きわめてわずかにしか過ぎないのである。

せつかく、人間の一人としてこの世に生まれることができたわれわれが、他の生物と同じように、単に“食うこと”と、“子孫をふやすこと”のみで一生涯を終わってしまったのでは、なんの意味もないだろう。

二度とくり返すことのできないのが人生であり、他のだれもが代わることができないのが人生であるとするならば、人間として“生きていてよかった”といえるような生き方をしたいものである。

“娑婆の縁つきぬれば”やがては浄土に行かねばならぬ“わたくし”の、今日一日の意味をあげてみようではないか。 沼田智秀著「生かされて」百八つのころより。

理事長よりのご挨拶

田原 優

素晴らしい天候に恵まれて行われましたシアトル別院の盆踊り行事は多くの会員の皆様のご奉仕のおかげで大成功でした。何ヶ月もの間に互る計画、用意、そして何日間もの料理の拵え、売店での接客係りなどの他になさねばならぬ多くの仕事に従事された方々のお陰です。踊りと売店などが終わった後の片付けに最後まで残ってくださった多くの会員の皆さんに心から感謝致します。成功裡に終わったこの行事に参加されて踊り、音楽、展示品、美味しい食べ物や飲み物などを楽しまれた一般社会の皆さんにも感謝の言葉を送りたいと思います。今年度の当寺のテーマである「念仏に帰る」はこの盆踊り行事を適切に表現したものでした。岡橋先生が私共の為に作詞・作曲・振り付けをしていただきました「シアトル盆踊りサンバ」は大ヒットでした。皆様ありがとう御座いました。



ちびちゃんバスケットボール

4-10 歳児を対象に第 15 年目のシーズンが始まります。9 月 21、28、10 月 5、12、19、26 日別院ジムにて。11 時 40 分より 1 時 15 分。\$15 別院会員、\$20 非会員。申し込み用紙及び詳細は英語面に。

キャンプファイアー

会員申し込み希望の方は別院事務所に用紙があります。



時報がウェブでご覧になれます！！

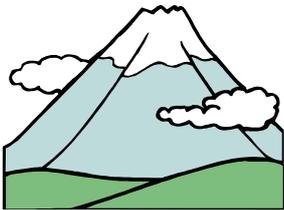
別院のウェブサイト www.seattlebetsuin.com 内に newsletter のセクションがありますそこをクリックして下さい。時報郵送を減らす努力は続けられております。今までに 150 人以上の方々がウェブ時報に変更されました。郵送費、コピーの手間、紙代などをご考慮のうえご協力下さいますように重ねてお願いいたします。

婦人会便り

会長のメッセージ

谷野テリー

7 月 19 -20 日両日への盆踊り行事の為、婦人会員は忙しく下準備を致しております。快くお手伝いご援助下さる皆様へ前もつて感謝致しますと共に、この行事が盛大に終了します事を期待しております。



マウントレイニア遊覧旅行

高島清子

雲なく太陽の照り輝く外気の好条件に恵まれた去る 7 月 11 日、婦人会員と配偶者計 45 名は、マウントレイニアへと遊覧旅行を致しました。昼食の目的地パラダイスへ向かう途中 2005 年の泥雪崩から生じたマウントレイニア周辺の自然美への荒廃に依る異変に心うたされました。温暖気温

の訪れが遅れ、雪解け後の色とりどりの美しい野の花の群集は春の様でした。

パラダイスロッジの周辺の積雪 10 フィートはすでにとけていましたが、歩行小道は氷と雪の悪条件の為、歩き回る事は不可能でした。丸木造りのレストラン内での昼食を楽しみ後、マウントレイニアの歴史の紹介映画展示品、そして展望所から周囲の景観等楽しめるきれいな観光客センターへと歩いて下りました。

更に楽しさを加えたこの旅行には、日本語を話す金髪で 6 フィートを上回る長身の運転手、レイモンドさんでした。彼の専門的知識と運転技術は期待以上のものでした。レイモンドさんは、又、数多くの別院バス旅行のお世話を下さっています但し来年は退職と聞き心淋しいです。



会員相互の友情による 此の快い山旅行へのバスの旅は、苦痛も軽く印象に残る思い出の一日となりました。全会員でこの体験を味わう事が出来ていたならばと思います。
楽しく終わった旅行への選出準備を担当された活動部員、島田シューリー、岡田マーリーンと清水ダーリンの方々へ感謝致します。 写真提供 谷口あき

• 寄付感謝録 一般寄付は、英文寄付欄をご参照下さい。

• 婦人会活動部清水ダーリン、原田セツ
手芸、水引、浴衣、着物、帯等過大な寄付をお盆手芸と商品売店へ寄付
下さいました方々へ感謝しています。有難うございました。



• 8月予定行事

3日 SBWA 理事会議
24日 恵信尼様、覚信尼様 顕彰法要

通信書記（日） 清水和美



秋の日本語聞法セミナー

9月13日(土)午前10時より午後4時まで別院にて、
特招講師・ワトソンビル仏教会駐在開教使・花山勝清師
テーマ:「聖徳太子について」
セミナー係・グローブスふみ夫人
BCA 会員\$20、非会員\$30

第62回 西北部教区仏教徒大会

2009年2月13日—15日ポートランド、ロイドセンター、ダブルツリーホテルにて。
海野大徹先生、“Jodo Shinshu in an Interdependent World”

第53回カナダ教団仏教徒大会 「仏道とは何か」

小杭好臣BCA 総長及びタコマの湯川考紹先生をお招きして2008年9月26—28日にバンクーバー、ホリデーインエクスプレスにて催される。申し込みは9月12日までに、英語面に詳細があります。ウェブサイトもご覧下さい。 vancouverbuddhistchurch.ca

レッツグリーン!

サンフランシスコ日米タイムズ記事によりますと不使用の電気製品のプラグを抜いておくと電気代がぐっと減ります。時計、CDプレイヤー、ランプなど使用中でないものでも電気を使っています。プラグを抜きますと加州大学バークレー校の研究で26%もセーブできるそうです。浜川ロンを始めとするお盆関係者がフードの箱をコンポース出来るものに変えたことに感銘しました。この努力に感謝します。アイデアをお送り下さい。イーメールかお手紙で事務所まで。

日本語版のイーメール・アドレス Newsletter-jpn@seattlebetsuin.com
シアトル別院時報日本語面翻訳・編集 和田真知子

